

丹波中学校だより



# 清流の辺

せい

りゅう

ほとり

2020.12.1

文責 丹波中校長 清水浩喜



## ★師 走★



今年も早12月、1年の締めくくりの月を迎えました。

学校も、2学期の大きな諸行事を充実のうちに実行し、生徒一人一人と各学年に、確かな成長が見られました。清流祭、修学旅行、校外学習、丹課発表会、自然学習等々、各種諸行事では、個々にかかる負担は大きいものの、全力で取り組む伝統的な丹波中らしさが、十分に発揮されました。授業においても、よく集中し、少人数でありながらも学び合いがすすみました。部活動においては、3年生から1・2年生にバトンタッチが行われ、新体制のもと積極的な活動が展開されてきました。そして、生徒たちの成長に、保護者・地域の皆様のあたたかい支えがあったことに、心から感謝申し上げます。コロナ禍は、まだまだ続きそうです。対策は、継続します。また、感染者や濃厚接触者が発生したとしても、落ち着いて対応する準備は整えております。ご安心ください。なお、近隣での発症報告が相次いでおりますが、誹謗中傷をしないさせない環境を、力を合わせて整えていきましょう。どうぞよろしく願いいたします。

### 《学校教育目標》

ふるさとを愛し、ふるさとから学び、  
ふるさとを創造する生徒の育成

知：自ら学び続ける生徒

徳：自分に厳しく、他人にやさしい生徒

体：心身ともに、たくましい生徒

## 12月の行事予定

- 1日（火）期末テスト
  - 3日（木）体重測定 見せ合い授業
  - 7日（月）職員会議 避難訓練
  - 8日（火）3年生到達度検査 きずなの日
  - 9日（水）校内研
  - 10日（木）生徒会選挙演説会・投票票  
SC来校日
  - 14日（月）セレクト給食
  - 16日（水）生徒総会
  - 17日（木）生徒会引継ぎ
  - 21日（月）三者懇談
  - 22日（火）2学期終業式 第3回自然学習
- ★3学期始業式は、1月14日（木）です。

## 丹波中ニュース

○11/14（土）に、**丹課発表会**を開催しました。丹波山村の自然・文化・環境・産業等々について、生徒なりの視点でとらえた研究は、来場者の皆様から高い評価をいただきました。丹波山村の明るい未来に向けた研究成果の発表は、丹波中の伝統的な学びとなっています。ふるさとを愛する生徒たちは、丹波山村の宝です。

○11月24日（火）に、初めての**オープンスクール**を実施しました。朝から放課後までの、自由な参観を可能にしたこの企画に、多くの保護者の皆様が来校されました。本来は、広く村民の皆様にもお越しいただく考えておりましたが、コロナ禍の状況下につき、見送ることといたしました。来年度は、広くこの取組を周知し、丹波中の様子を多くの皆様にご覧いただけます。なお、普段の日においても、参観は自由にさせていただいております。ぜひ、お越しください。

○全校生徒を対象に、**放課後学習会**を実施しています。この学習会は、受験や課題解決に向けた学習の機会を確保するために、伝統的に実施している学習会です。



# 税についての作文

## かけ算九九が言えること

丹波中学校 1年 鶴田佳宏



僕の父は海外で働いています。そのため、僕は小学校6年まで家族みんなでアフリカのいくつかの国々に住んでいました。毎年日本に一時帰国していたのですが、日本の街並みを見て毎回思うことがありました。（日本の道路はどうしてこんなにきれいなんだろう。）

僕が住んでいたアフリカの国々は、人々は優しく、美しい自然でいっぱいでしたが、道路に関してはとてもひどい状態でした。大きな穴があちらこちらに空いていて、中央の白線も消えかけてほとんど見えませんでした。雨になるともっとひどく、雨水がたまって穴が見えなくなるのでとても危険です。父はゆっくり運転しながら、いつも「マリオカートの世界みたいだな。」とっていました。

また、日本との違いを強く感じたのは小学校3年の算数の授業です。僕は日本大使館から日本の教科書を支給してもらっていたので、家では日本のカリキュラムにそって勉強していました。ある日の算数の授業で、僕がかけ算の問題を解いて全問正解すると、クラスみんなに「えっ、頭が壊れちゃったの？」とビックリされました。どうしてかという、その時僕のクラスではまだ、足し算を勉強していたからです。

日本では、2年生が終わる頃には、多くの小学生がかけ算の九九を言えるようになります。しかし、僕の住んでいたアフリカの国では、2年生でかけ算ができる人はほとんどいません。5年でもできない人もいました。

道路がきれいに整備されていることと、小学校2年生でかけ算九九が言えることは、どちらも税金に関係します。かけ算九九が言えるということは、四則計算などの基礎的な教育がしっかり習得できているということです。これは将来専門的な知識や技術を習うためには絶対必要です。もしかけ算ができないまま大人になってしまったら、将来「みんなが困らないようにしっかりした道路をつくる仕事に就きたい」と思っても難しいでしょう。

今回、これをきっかけに日本の教育の歴史について調べると、日本の義務教育の無償化は1900年から始まっていることが分かりました。もう120年も続いていることになります。また、授業料の無償化に加えて、僕たちが使っている教科書や、先生方の給料も税金から払われていることも分かりました。このように、税金を教育のためにしっかり使い続ける積み重ねによって、教育が安定するのだと分かりました。

国が発展するためには教育がとても重要です。今の大人の人たちが納めてくれている税金で僕たち中学生が教育を受け、自分たちが大人になった時は、今度は自分が納める税金で子どもたちが教育を受けられる。税金が教育や社会づくりにつながっているんだということを、もっともっと自分のこととしてとらえたいです。そして、勉強も運動もいろいろな活動もしていこうと僕は思いました。

